

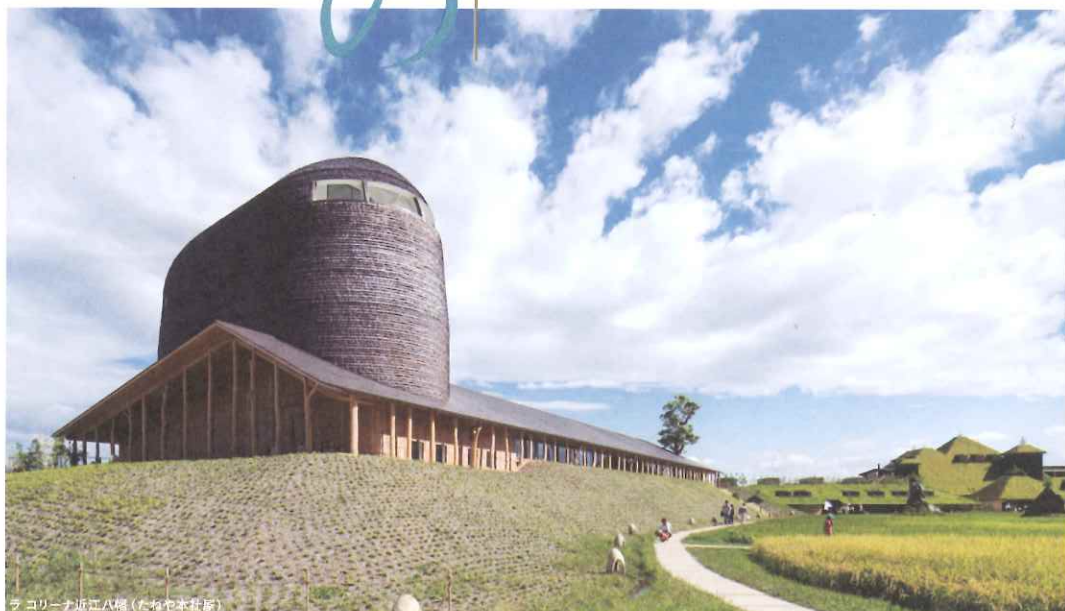
岩手県建築士会 「建築士の日」記念講演会

藤森照信

建築と

これから

盛岡



2019年 **8**月**4**日(日)

盛岡劇場 メインホール [定員500名]
岩手県盛岡市松尾町3-1

14:30~17:30 (開場14:00)

第1部
14:40~

藤森照信氏による記念講演

「自然を生かした建築と路上観察について」

講師 / 藤森照信氏 (建築家、建築史家、東京大学名誉教授、江戸東京博物館館長)

第2部
16:10~

ミナ ペルホネン皆川明氏との対談

「公募設置管理制度 (Park-PFI) について」

「盛岡城跡公園芝生広場で始まること」

対談 / 皆川明氏 (デザイナー、株式会社ミナ設立)、藤森照信氏

聞き手 / 石山友美氏 (映画監督、秋田公立美術大学美術学部美術学科助教)



入場無料

申込不要

[主催] (一社) 岩手県建築士会、岩手県建築士会盛岡支部

[共催] 盛岡市 (担当 都市整備部公園みどり課)、(一財) 岩手県建築住宅センター

[後援] 岩手県、(一社) 岩手県建築士事務所協会、(公社) 日本建築家協会東北支部岩手地域会

お問い合わせ

080-1849-1199 (岩手県建築士会盛岡支部長 中村)
019-651-4111 [内線 7267] (盛岡市公園みどり課 田畑)

藤森照信

建築と

これからの

盛岡

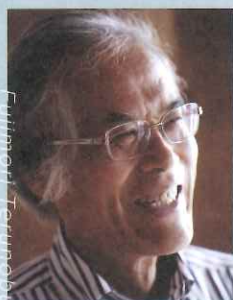
この度建築史家であり東京江戸博物館の館長でもある藤森照信氏が盛岡城跡公園芝生広場整備事業の公募設置管理制度（Public-Plan）の公募にて事業者の一員として関わられることが発表されました。事業の主体は皆川明氏率いるミナベルホネン（アパレルの企画・製造、即ち小売）です。

この施設は、盛岡城跡公園の魅力を高めるために、芝生広場を再整備し、カフェ、ショップ、ギャラリーを併設した複合施設となります。また事業費のすべてを民間が調達することになります。

建築家の藤森照信さんが盛岡城跡公園の芝生広場で考えている「ホホホの森」とはどのような建築なのか、皆さんと一緒に聴いてみたいと思います。

建築家

藤森照信



1946年長野県生まれ。71年東北大学工学部建築学科卒業、78年東京大学大学院博士課程修了。東京大学生産技術研究所教授に就任。2010年に東京大学を定年退職、東京大学名誉教授。16年東京博物館館長に就任。建築家として日本近代建築を研究するかわら、80年代に赤瀬川原平らと路上観察学会、縄文建築団を結成し、自由な発想とユーモア、現場の行動力とで「建築」の関口を世に広く開いた。建築家としてデビューしたのは44歳のとき。それから今日まで、奇想天外な風貌、なおかつ周囲の環境との調和、そして自然素材を斬新に取り入れる手法で、比類なき建築家として40余りの作品を生み出してきた。手がける建築物は、各都市の新たな観光スポットとなっており、近作の「ラ コリーナ近江八幡」は、琵琶湖等の観光地を仰いで滋賀県で最も集客数（年間300万人）が多い観光地となっている。



（写真左上）草屋根、ラ コリーナ近江八幡 （写真左下）コールハウス （写真右）草屋根 内観、ラ コリーナ近江八幡（たねや緑舎販売場）



photo by yusaku shima



photo by yusaku shima



photo by yusaku shima

皆川明

デザイナー



Akira Minagawa photo by takashi shima

1967年東京生まれ。1995年に自身のファッションブランド「minä perhonen（2003年より minä perhonen）」を設立。時の経過により色あせることのないデザインを目指し、想像を込めたオリジナルデザインの生地による服作りを進めながら、インテリア・オブジェや家具、陶磁器など暮らしに寄り添うデザインへと活動を広げている。また、デンマーク Kvadrat、スウェーデン KLIPPAN などのテキスタイルブランドへのデザイン提供や、新聞や雑誌の挿画なども手掛ける。

minä perhonen（ミナ ベルホネン）

オリジナルの図案によるファブリックを作るところから服作りを進める。国内外の生地産地と連携し、素材開発や技術開発にも積極的に取り組む。ブランド名は、デザイナーがスカンジナビアへの旅を重ねる中で、そのライフスタイルやカルチャーに共鳴するというフィンランドの言葉から取った。「minä」は「私」、「perhonen」は「ちようちよう」を意味する言葉。ブランドロゴは「私（四角）の中のさまざまな個性（粒の集合）」を表す。蝶の種類の数え切れない程あるように、デザイナーの生み出すデザインもまた、増え続ける。



石山友美

映画監督



1979年生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業。職崎新アトリエ勤務を経て、フルブライト奨学生として渡米。カリフォルニア大学パークレイ校大学院、ニューヨーク市立大学大学院で建築、芸術論、社会理論を学ぶ。ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究所修士課程修了。在米中に映画制作に興味を持つようになる。監督デビュー作『少女と夏の終わり』（第25回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門公式出品）。2015年『だれも知らない建築のはなし』（第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 正式出品作品）。



盛岡劇場（河南公民館）〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町3-1

○駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。